



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月26日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL https://www.softbrain.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 9500
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	2,334	9.3	261	△6.5	263	△5.6	170	△6.2
2018年12月期第1四半期	2,136	4.6	279	20.1	278	20.3	181	13.0

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 170百万円 (△9.9%) 2018年12月期第1四半期 188百万円 (13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	5.80	—
2018年12月期第1四半期	6.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	6,478	4,632	68.2	150.53
2018年12月期	6,861	4,712	65.4	152.94

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 4,416百万円 2018年12月期 4,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	0.00	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,700	8.6	470	1.9	470	1.2	300	4.2	10.23
通期	9,930	8.1	1,320	7.0	1,320	6.4	840	5.4	28.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期1Q	30,955,000株	2018年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	1,617,300株	2018年12月期	1,622,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期1Q	29,335,928株	2018年12月期1Q	29,319,473株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与E S O P信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与E S O P信託口）が所有している当社株式（2019年12月期1Q：67,300株、2018年12月期：72,800株、2018年12月期1Q：83,100株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	2,334百万円 (前年同期比9.3%増)
営業利益	261百万円 (同6.5%減)
経常利益	263百万円 (同5.6%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	170百万円 (同6.2%減)

となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、個人消費の増加など景気は引き続き回復基調で推移いたしました。一方で米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題など海外の政治・経済動向の不確実性、慢性的な労働力不足など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社は2018年1月に「ソフトブレン 中長期経営計画2018-2020」を策定、安定的・継続的な高成長に向けた基盤構築のための準備期間と位置づけ、フローからストックへの収益モデルの転換を目指しております。

当第1四半期連結累計期間は出版事業が減収となったものの、営業イノベーション事業、フィールドマーケティング事業およびシステム開発事業が堅調に推移したことにより、増収となりました。利益面におきましては、フィールドマーケティング事業およびシステム開発事業が増益となりましたが、営業イノベーション事業および出版事業が減益となり、全体としては営業利益、経常利益は減益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

営業イノベーション事業

当事業におきましては、営業面では引き続きセミナー開催などを通じて新規顧客の開拓を推進するとともに、既存顧客への更なる利用促進のために、従来の活用支援サービスに加え、集合型ユーザー研修を強化いたしました。また、開発面では主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の使い勝手の良さを追求した開発やセルフサブ型「eセールスマネージャーRemix MS」の開発に引き続き取り組みました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の販売がクラウド型を中心に堅調に推移いたしました結果、売上高は1,247百万円(前年同期比9.8%増)となりました。また利益面に関しましては、成長に向けての開発や人件費等の先行費用の増加により、セグメント利益は194百万円(同6.0%減)となりました。

フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大手消費財メーカーを中心に継続的な営業活動によりニーズの把握、案件発掘、新規提案を積極的に行うとともに、業種や業務の幅を拡大した「フィールド・クラウドソーシング」のコンセプトの下、新たな市場開拓に向けた取り組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力サービスである定期フィールドビジネスや人材派遣ビジネスが引き続き堅調に推移したことなどにより、売上が伸長いたしました結果、売上高は953百万円(同10.8%増)、セグメント利益は96百万円(同28.7%増)となりました。

システム開発事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、既存顧客の深耕及び新規顧客の獲得に注力したことにより、一括案件およびSES案件が堅調に推移し、増収となりました。費用面におきましては、引き続きプロジェクト管理の徹底による収益性の改善に努めました。

以上の結果、売上高は95百万円(同16.6%増)、セグメント利益は4百万円(同209.0%増)となりました。

出版事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上面では書籍販売の減少を背景に減収となりました。利益面につきましても減収の影響により赤字幅が拡大いたしました。

以上の結果、売上高は38百万円(同34.4%減)、セグメント損失は32百万円(前年同期は3百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産	6,478百万円 (前連結会計年度末比5.6%減)
負 債	1,846百万円 (同14.1%減)
純資産	4,632百万円 (同1.7%減)

となりました。財政状態の分析は、以下の通りです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

<資産>

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ383百万円減少し、6,478百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が276百万円減少したことによるものです。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ303百万円減少し、1,846百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が210百万円減少、前受金が106百万円減少したことなどによるものです。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、4,632百万円となりました。主な要因は、235百万円の剰余金配当を実施したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は68.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年1月30日に公表いたしました2019年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,010,159	3,733,940
受取手形及び売掛金	1,702,662	1,669,694
商品及び製品	65,728	48,581
仕掛品	65,917	91,152
その他	161,270	130,956
貸倒引当金	△17,776	△13,386
流動資産合計	5,987,962	5,660,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,064	94,064
減価償却累計額	△42,664	△50,416
建物及び構築物(純額)	51,400	43,648
工具、器具及び備品	316,181	322,028
減価償却累計額	△243,244	△249,365
工具、器具及び備品(純額)	72,937	72,663
有形固定資産合計	124,338	116,311
無形固定資産		
ソフトウェア	525,608	512,078
その他	915	915
無形固定資産合計	526,523	512,993
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	134,853	124,517
長期滞留債権	40,840	45,061
繰延税金資産	82,798	58,515
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△40,840	△45,061
投資その他の資産合計	223,152	188,533
固定資産合計	874,014	817,838
資産合計	6,861,977	6,478,776

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	324,113	370,449
未払金	419,592	401,648
未払役員賞与	49,505	-
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	284,064	73,155
前受金	548,758	441,949
賞与引当金	64,267	42,472
役員賞与引当金	-	8,116
返品調整引当金	11,461	13,515
その他	243,584	305,530
流動負債合計	2,101,347	1,812,837
固定負債		
長期借入金	28,000	14,000
株式給付引当金	7,360	7,334
その他	12,935	11,914
固定負債合計	48,295	33,248
負債合計	2,149,642	1,846,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	3,541,844	3,471,056
自己株式	△249,503	△248,799
株主資本合計	4,486,200	4,416,116
非支配株主持分	226,134	216,574
純資産合計	4,712,334	4,632,690
負債純資産合計	6,861,977	6,478,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	2,136,390	2,334,149
売上原価	1,344,254	1,514,113
売上総利益	792,135	820,036
販売費及び一般管理費	512,365	558,414
営業利益	279,770	261,621
営業外収益		
受取利息	67	93
受取返戻金	-	1,050
助成金収入	330	330
その他	102	1,395
営業外収益合計	499	2,869
営業外費用		
支払利息	248	325
為替差損	763	635
リース解約損	550	-
雑損失	-	436
営業外費用合計	1,561	1,397
経常利益	278,707	263,093
税金等調整前四半期純利益	278,707	263,093
法人税、住民税及び事業税	76,773	74,068
法人税等調整額	12,959	18,704
法人税等合計	89,732	92,772
四半期純利益	188,974	170,320
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,547	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,427	170,223

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	188,974	170,320
四半期包括利益	188,974	170,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,427	170,223
非支配株主に係る四半期包括利益	7,547	96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,135,803	860,312	81,514	58,759	2,136,390	—	2,136,390
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,315	484	8,249	2,879	18,928	△18,928	—
計	1,143,119	860,796	89,764	61,638	2,155,318	△18,928	2,136,390
セグメント利益 又は損失(△)	206,591	75,103	1,347	△3,205	279,837	△66	279,770

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△66千円には、固定資産の調整額が9千円、棚卸資産の調整額が△76千円含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,247,528	953,044	95,041	38,534	2,334,149	—	2,334,149
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,104	488	8,826	381	17,800	△17,800	—
計	1,255,633	953,532	103,867	38,916	2,351,949	△17,800	2,334,149
セグメント利益 又は損失(△)	194,149	96,634	4,164	△32,983	261,965	△343	261,621

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。